

2018 安全報告書



 **上信電鉄株式会社**

この安全報告書は、当社における2017年度鉄道輸送の安全確保のための取り組みや安全・安心の実態をまとめたものです。

目 次

1. 経営トップの姿勢
安全報告書の作成にあたって
2. 輸送の安全に関する基本方針
安全方針
安全行動規範
平成30年度 安全目標
3. 過去3年間の運転事故等の発生状況
運転事故発生状況
輸送障害発生状況
4. 安全確保のための取組み
線路・電気設備関係
車両・駅関係
5. 安全教育と訓練・健康管理
知識・技能の向上
健康診断・適性検査の実施
6. 安全管理体制
安全の確保に関する体制
安全管理体制の強化
7. お客様・沿線住民の皆様と共に
お客様・沿線の皆様へのお願い

1. 経営トップの姿勢

「安全報告書の作成にあたって」

日頃より上信電鉄をご利用いただき誠に有難うございます。また、鉄道事業に対しご理解いただき心より感謝申し上げます。

上信電鉄では法令遵守のもと、お客様を安全・正確・快適に目的地までお送りすることを最大の使命とし、全社員が一丸となって取り組んでおります。地域の皆様に親しまれる企業として皆様と共に歩んだ結果、平成29年度(2017年度)も人為的責任事故の発生は無く、連続10年間無事故を達成することが出来ました。

今後もお客様に安心してご利用いただける鉄道として邁進いたしますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態についてお客様に広くご理解いただくために作成いたしました。

上 信 電 鉄 株 式 会 社

代表取締役社長 木 内 幸 一

2. 輸送の安全に関する基本方針

輸送の安全確保は鉄道の使命であり、弊社の第一の経営理念でございます。

過去の幾多の鉄道事故例を教訓として、安全教育を徹底し社長以下全社員が一丸となって安全輸送の確保に日々邁進いたします。

安 全 方 針

1. 常に一人一人が安全最優先意識を高く持ち、お客様の安全、安心確保の責務を誠実に果たす。
2. 輸送の安全に関する法令・規程をよく理解し、守り誠実に職務を遂行する。
3. コミュニケーションを図り、風通しの良い職場環境を構築する。

安 全 行 動 規 範

安全・安心の確保を最大の使命として、下記事項について積極的に取り組みを致します。

1. 全社一丸となって、輸送の安全確保に努める。
2. 基本動作の徹底及び指差確認喚呼を励行し、誠実に取り組む。
3. 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置に努める。
4. 報告・連絡・相談を緊密にし、迅速・正確に伝え透明性を確保する。
5. 問題意識を持ち、必要な改革に努める。

平成30年度 安全目標

責任事故・重大インシデント「ゼロ」の継続

3. 過去3年間の運転事故等の発生状況

年 度	運転事故			輸送障害(遅れが30分以上や運休したもの)	
	衝突	脱線	踏切他	電気・信号・線路の故障等	自然災害
平成27年度	0	0	1	2	2
平成28年度	0	0	1	3	2
平成29年度	0	0	2	2	0

注)踏切他とは、第3者行為による踏切等の障害事故を表します。

4. 安全確保のための取組み

輸送の安全確保のために、施設の安全対策に取り組んでいます。

設備関係

	項 目	実施箇所	備 考
線路・電気設備 保安設備等関係	接続軌道(踏切)整備	西富岡駅～上州七日市駅	黒川踏切
	レール交換(重軌条化)	上州福島駅・吉井駅構内	2箇所
	分岐器交換	上州福島駅・吉井駅	3台
	コンクリート枕木交換	吉井駅～西吉井駅	1,000本
		高崎駅・上州福島構内	506本
	通信ケーブル更新	南高崎駅～吉井駅	4,485m
	ブラケットビーム更新	赤津信号所～下仁田駅	14箇所
	コンクリート柱化	佐野のわたし駅～根小屋駅	6本
変電所監視装置更新	山名変電所	1台	

車両・駅関係

	項 目	実施箇所	備 考
車両設備 駅施設関係	車両の全般検査・重要部検査	7001・7501号 他	6両
	車両の購入		12両
	プラットホームフェンス整備	上州富岡駅・下仁田駅	3箇所
	駅照明のLED化	馬庭駅・吉井駅	2駅



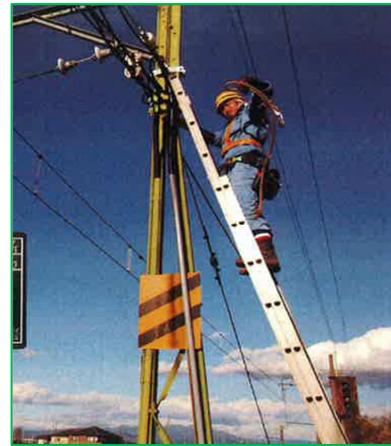
分岐器交換 吉井駅



コンクリート枕木化



軌道整備



通信ケーブル更新

5. 安全教育と訓練・健康管理

輸送の安全を確保するために年間教育訓練計画を立て、知識・技能の向上を目指し教育、研修を実施しております。また、様々な異常時に対応出来るよう本社鉄道部による実地訓練を随時実施しております。



施設区員列車監視訓練



運転士異常時対応訓練



駅係員制御盤テコ取扱い訓練



非常脱出はしご設置訓練

・ 定期考査、適性検査の実施

知識、技能及び運転保安業務の取扱いに適応する素質、能力を把握するため 毎年1回運転関係従事員を対象に定期考査また、3年に一度適性検査を実施しております。



定期考査

・ 健康診断の実施

心身の状態（視力・聴力等）確認のため健康診断を全社員対象に毎年実施しております。

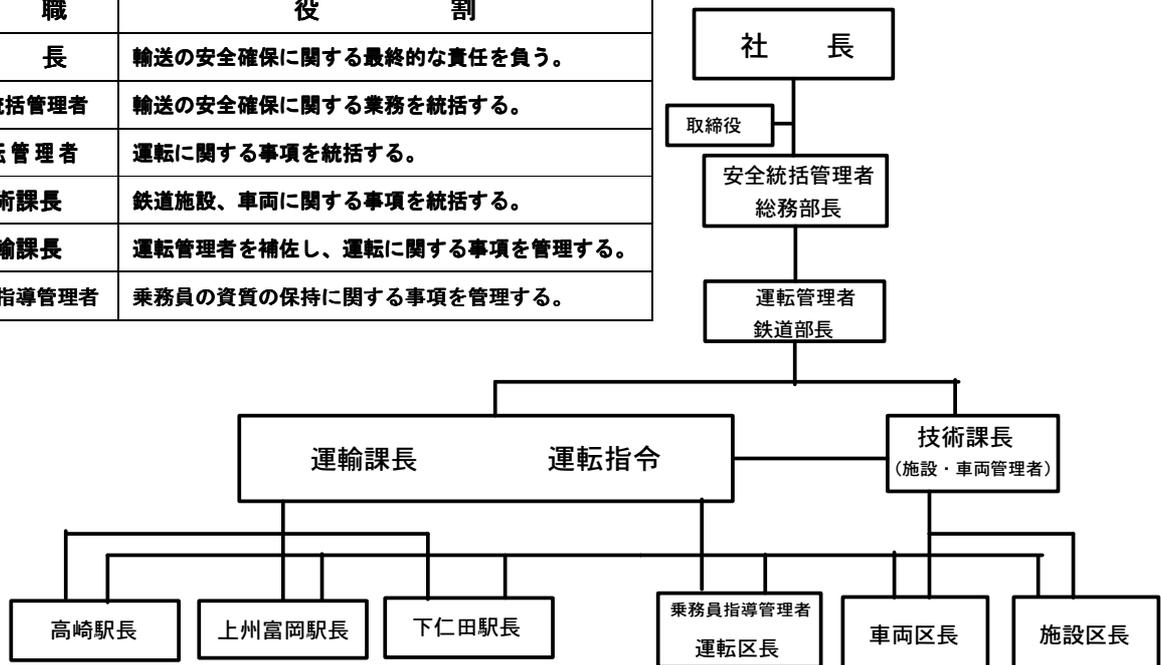
結果については総務担当部署及び職場長も確認、管理しています。

6. 安全管理体制

社長を最高責任者として、輸送の安全確保に関する体制を構築して運用しております。また、組織の体制を明確にするとともに、組織内の責務も明確にしたうえで安全確保のための役割を担っております。

・安全の確保に関する体制

役 職	役 割
社 長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全確保に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	運転に関する事項を統括する。
技 術 課 長	鉄道施設、車両に関する事項を統括する。
運 輸 課 長	運転管理者を補佐し、運転に関する事項を管理する。
乗務員指導管理者	乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。



・安全管理体制の強化

安全マネジメントの強化に向け、取り組み状況を検証する内部監査を定期的
に実施しております。

職場長会議を定期的を開催し、各職場における問題点について意見交換を行
いコミュニケーションを図っております。

社長、安全統括者及び担当部長が随時現業職場を巡回また、列車添乗等を行
い現業社員と直接対話し、取組や実作業の確認を行いながら安全意識の高揚を
図っております。



社長に対する内部監査



社長が出席する職場長会議

夏季(8月1日～8月10日)及び年末年始(12月10日～1月10日)の年2回、社員一人一人が安全性の向上を図るとともに、安全意識の高揚を目的とした「輸送の安全総点検」を実施いたしました。

7. お客様・沿線住民の皆様と共に

上信電鉄では、お客様及び沿線住民の皆様には鉄道事故防止のお願いをしております。また電車利用促進活動を行っております。

- ① 春・秋の全国交通安全運動期間中に踏切道にのぼり旗・立看板を設置し、踏切道での一旦停止と左右確認の実施を呼びかけました。また、沿線の幼稚園・保育園及び小学校等の新入生を対象に、交通安全啓発グッズを配布し、踏切事故防止、線路内立入禁止等のお願いをいたしました。また、イベント等において電車乗り方教室・乗車体験・安全教室を実施しております。
- ② 鉄道を利用するお子様が登下校時等において被害に遭わないよう「こども110番の駅」の取組みに積極的に参加し、安心して駅を利用することが出来る環境づくりを目指しております。
- ③ 駅または駅周辺で急病人が発生した時に救命処置が出来るよう、主要駅にAED(自動体外式除細動器)を設置し、係員に対し随時取扱い訓練を行っております。

- ④ 鉄道を身近に感じていただくため各種イベント・電車乗り方教室等を実施しております。また、沿線で開催されるイベント等に積極的に参加しております。



子供10番の駅・AED設置ポスター



電車乗り方教室実施

○お客様へのお願い

①ホームにおける安全確保

ホーム上を走ったり、歩きながらのスマホや携帯電話のご使用は、転倒・転落事故、列車や他のお客様との接触事故などの恐れがあり大変危険ですのでおやめください。

列車がホームに入ってくる時は、白線又は黄色線の内側でお待ちください。

②踏切事故防止

踏切を通行するときは、必ず一旦停止して列車が来ないことを確認してから渡っていただくようお願いいたします。警報機が鳴ったら無理な横断はしないでください。

③列車妨害など危険な行為

列車に向かって石を投げたり、線路に石を置いたり、いたずらで踏切の非常ボタンを押して列車を止めたりすると犯罪となります。このような行為は脱線事故や乗車しているお客様がけがをするなど大変危険です。絶対にしないでください。

上信電鉄に関するご連絡は

上信電鉄株式会社 総務部

TEL 027-323-8066 月～金 9:00～17:30 ※祝日、年末年始は除く

FAX 027-323-5179

メ - ル soumu@joshin-dentetsu.co.jp

URL <http://www.joshin-dentetsu.co.jp/index.htm>